

重点目標	〔重点目標〕 1 幼・小・中・高が連携した「ふるさと教育」を推進する。 2 自ら考え、正しく判断し、自覚ある正しい行動ができる力を育成する。 3 仲間と認め合い、支え合いながら相手の立場や気持ちを思いやる教育を推進する。 4 目標を高く持ち、自信を持って、最後まで粘り強く努力する生徒の育成に努める。 5 「ふるさと学習」を通して、ふるさとに誇りを持ち、貢献する態度を育てる。 〔努力事項〕 1 学習指導 「個別最適な学習」「協働的な学習」を推進しながら、「分かる授業」「充実した学び」を柱に、授業改善・工夫に努める。 2 生徒指導 「生徒指導は生徒理解」を基本に、教職員と生徒・家庭との心の通い合う連携による指導を展開する。 3 道德教育 互いの個性を認め合いながら議論できる道德教育と、郷土の自然や人・文化を生かして、地域社会の一員としての育成に努める。 4 特別活動 活気ある生徒会活動を推進し、主体的に考え、気付き、判断して行動できる生徒の育成に努める。 5 特別支援教育 一人一人の個性を大切にしながら、障がいの状態や発達段階を考慮し、「合理的配慮」を行い、全教職員で教育の改善充実を図る。 6 人権・同和教育 同和問題をはじめとする様々な人権問題の歴史的・社会的背景について正しい理解と認識を深めることを通して、命の尊厳と差別の解消に向けて取り組む姿勢を持つ。 7 健康・安全教育 「自分の命は自分で守る」ことを基本姿勢とした防災に関する知識学習と訓練を通して危険予防や的確な判断力、実践力の育成に努める。 8 環境教育 生徒会を中心とした小田地区周辺のボランティア奉仕活動の実践を通して、ふるさとの環境の保持、また、それに係る意欲と実践力を育成する。 9 進路指導 生徒理解に努め、一人一人の能力や適性に応じた、進路指導を実践し、自分の生き方について深く考えさせることで、主体的な進路選択力の育成に努める。 10 現職教育 校内研修の充実を図り、教師一人一人の資質とスキルの向上を図り、教職員全員が学校運営、学校組織の活性化に努める。
管理運営	1 人的管理 (1) 教職員の心身の健康管理と危機管理意識の向上を図るとともに、定期的な面談等を行うことで、働くことへの意欲を保つようにする。 (2) 適切な校務分掌の配置と業務量の管理を行い、教職員が個々の力を最大限に発揮できる職場づくりに努める。 (3) カリキュラム・マネジメントを活用し、ゆとりを持った教育活動を展開する。 (4) 服務規律の厳正化と、報告・連絡・相談、また定期的な確認・記録を行う。 (5) 目標チャレンジシートを活用し、目標の設定とその取組を適正に評価する。 2 物的管理 (1) 木造建築の良さを活用した、温かい雰囲気のある学校環境づくりに努める。 (2) 家庭・地域と連携した危機管理と学校安全の徹底を図る。 (3) 施設・設備・備品等の適正な管理と効果的な活用を図る。 3 事務的管理 (1) 校務分掌の明確化と情報の共有化を図り、校務支援システムによる効率化を図る。 (2) 内子共同事務室と連携した適正な事務処理に努める。 (3) 個人情報の適正な管理と経理の厳正な処理、学校予算の適正な執行に努める。
本校教育の特色	1 幼・小・中・高一貫教育、CS(コミュニティ・スクール) (1) 幼稚園、小学校、中学校同一敷地内設置の利点を生かすとともに、高校との連携を図ることで、発達段階と連続性を関連付けたつながりのある教育の推進に努める。 (2) 小中一貫教育を推進し、小田地区ならではの特色ある教育活動に努める。 (3) 学校運営協議会の充実・発展に努め、学校と家庭、地域、関係機関との連携・協働をさらに進めて、地域とともに歩む学校づくりに尽力する。 2 総合的な学習の時間・ふるさと教育 (1) 「地域に学び、考え、活動する」取組として、福祉体験や職場体験、環境教育など、地域の教育力を活用し、問題解決学習を充実させる。 (2) 体験的な活動や問題解決的な学習活動を通して、探究活動を充実させるとともに「一人一台の端末」を活用した学習を展開し、生きる力を育成する。 (3) 小学校と連携しながら、小田の地域人材や自然、文化や歴史に学ぶ「ふるさと学習」を推進し、ふるさと小田を愛する生徒を育成する。